

弘前実業高等学校 × りんご／さくら和紙研究会  
第32回全国産業教育フェア青森大会 学習体験の名刺作製コーナー  
において使用する和紙（りんご剪定枝パルプ使用）の紙漉体験について

対象生徒：情報処理科3学年  
実施日：8月17日～18日

行事名：あおもり創造学

今年度の課題研究の授業の取り組みで、青森県の特産品のひとつである「りんご」について、食べるだけでなくそれ以外の方法での利活用や商品開発について調査・研究を行ってきました。その研究のなかで「りんご／さくら和紙研究会」様がりんご剪定枝を使用した和紙で、ミニねふたやシードラベル等の紙製品を作製していることを知りました。今年度は10月15日（土）・16日（日）に第32回全国産業教育フェア青森大会が開催され、本大会のわくわくこども商人（あきんど）のブースでは、県内の商業高校生による小学生を対象とした商業科目に関連するビジネスの職業体験の学習体験に、名刺作製体験コーナーがあります。その名刺で使用する紙にりんご剪定枝和紙を使用する企画を計画し、問い合わせたところ「りんご／さくら和紙研究会」様で快く引き受けてくださり、名刺作製体験コーナーを担当する班員（女子生徒6名）で紙漉体験を実施しました。また、これから作成する名刺には青森県の特産品や名所を記載し、体験に参加する小学生に青森県の魅力を十二分に知ってもらいたいと思います。

